

# とっとり 土地改良だより



発行  
みどり  
水土里ネットとっとり  
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地

TEL (0857) 38-9500 FAX (0857) 38-9577

<http://www.totirengonet.or.jp>

印刷所 日ノ丸印刷株式会社



農業・農村のフォトコンテスト2020 入選作品  
「春色」 淀江町(壺瓶山)

## 目

○「水土里ネットとっとり 第65回通常総会」	2~3
○感謝状の贈呈について	3
○「第2回 理事会」	4
○令和4年度 本会の組織体制及び職員人事異動	5~6
○令和3年度 新たに資格を取得した者	6
○令和4年度 新規採用職員の紹介	7
[シリーズ]	
次 ○あつまれ、 <sup>みどり</sup> 水土里のなかまたち	8
○編集後記	8

## 「水土里ネットとっとり 第65回通常総会」



開会挨拶 榎本武利 会長

令和4年2月25日(金)湯梨浜町「ハワイアロハホール(大ホール)」を会場に、鳥取県土地改良事業団体連合会第65回通常総会を開催しました。

当日は、日程に従い榎本武利会長の開会挨拶に続いて、祝辞紹介の後、議事に入りました。

議長には、岩美町 長戸清町長を選出し、9議案について慎重に審議され、原案どおり可決されました。

### 《提出議案》

- 第1号議案 令和2年度事業報告、貸借対照表、財産目録並びに会計収支決算について
- 第2号議案 令和3年度会計収支補正予算について
- 第3号議案 令和4年度事業計画について
- 第4号議案 令和4年度会計収支予算について
- 第5号議案 令和4年度賦課金徴収の方法及び時期について
- 第6号議案 金銭の預入先について
- 第7号議案 一時借入金の借入について
- 第8号議案 役員の報酬について
- 第9号議案 役員の選任について



議長 長戸 清 岩美町長



決議朗読 池上早紀 技師

### 【決議】

- 一. 農村地域の国土強靱化を図るため、農地や農業用施設の整備・保全等、鳥取県の農業農村整備事業を計画的かつ安定的に推進出来るよう、十分な予算を確保すること。
- 一. 気候変動による豪雨災害や大規模地震が頻発しており、国民の生命と財産を守るためにも、洪水被害防止対策やため池等の耐震化など、農村地域の防災・減災対策を推進すること。
- 一. 老朽化が進む農業用水利施設等のデータの一元管理と計画的な更新及び適切な保全対策の充実強化を図ること。
- 一. 土地改良区の声に真摯に耳を傾け、引き続き、複式簿記の推進など土地改良区の組織・運営基盤の強化に対する指導及び支援を行うこと。
- 一. 農村協働力の維持と農地・水路・農道等の地域資源の質的向上を図る活動として期待される多面的機能支払交付金の十分な予算確保と制度の推進をすること。
- 一. 農業土木技術者の確保と育成を行うとともに、農業農村整備事業の推進にあたっては、水土里ネットが有する技術や経験が十分発揮できるよう配慮すること。

## 鳥取県土地改良事業団体連合会 役員名簿

## 【理事】

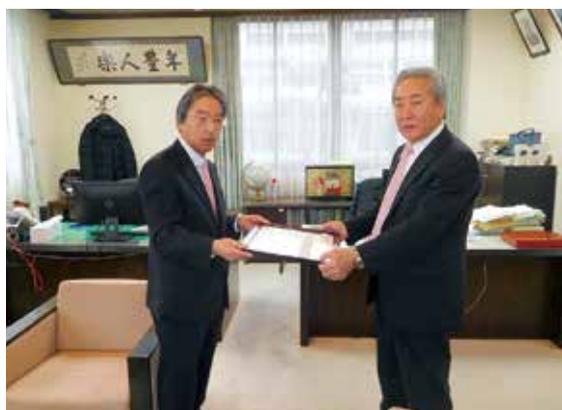
任期:令和4年2月25日～令和6年3月31日

役 職	氏 名	職 名	備 考
会 長	榎 本 武 利	学識経験者	
副会長	宮 脇 正 道	湯梨浜町長	
副会長	天 島 清 憲	中山地区畑地土地改良区理事長	
常務理事	中 村 均	学識経験者	
理 事	深 澤 義 彦	鳥取市長	
理 事	吉 田 英 人	八頭町長	
理 事	金 兒 英 夫	智頭町長	新 任
理 事	湯 邨 勳	福部土地改良区理事長	
理 事	山 崎 正 美	関金土地改良区理事長	
理 事	小 谷 俊 一	久米ヶ原土地改良区理事長	
理 事	井 中 信 一	大栄町土地改良区理事長 東伯地区土地改良区連合理事長	
理 事	陶 山 清 孝	南部町長	
理 事	竹 口 大 紀	大山町長	
理 事	田 邊 雄 一	箕蚊屋土地改良区理事長	
理 事	檀 床 和 子	学識経験者	新 任

## 【監事】

役 職	氏 名	職 名	備 考
代表監事	渡 邊 柁 城	淀江宇田川地区土地改良区理事長	
監 事	中 嶋 一 夫	大井手土地改良区理事長	
監 事	福 本 まり子	琴浦町長	新 任

## 感謝状の贈呈について



西垣前町長と榎本会長

前岩美町長の西垣英彦さんに感謝状の贈呈をさせていただきました。

これは、本会の表彰規定により「土地改良事業の推進に尽力し、功績顕著と認める者、又は、本会の運営に特に協力し貢献のあった者」に対して贈呈されるものです。

## 【県土連役員履歴】

監 事:平成30年4月1日～令和3年3月31日  
理 事:令和3年4月1日～令和3年12月6日

## 「第2回 理事会」

令和3年度第2回理事会を1月26日(水)鳥取県土地改良会館において、理事11名の出席、監事2名の同席のもと開催しました。

開会にあたり、榎本会長から「新型コロナの拡大が懸念されておりますが、本日は感染対策を徹底するということで開催させて頂きました。来年度予算につきましては、近年、毎年のように大災害が発生し、業務受託料の補正予算が大幅に増額となっていることから、それらを考慮した予算編成としております。また、国においては、女性の参画を多方面に進めていることから、本会も役員の選任に併せて1名の女性理事を通常総会に提案することとしておりますので、よろしくお祈いします。」と挨拶がありました。

続いて、農林水産省 農村振興局 設計課 瀧川技術調査官から情報提供として「農業・農村を巡る状況の変化と土地改良事業の対応」について、オンラインで説明がありました。

その後、以下の議事が審議され、原案どおり承認されました。

### <議 事>

- 議案第1号 感謝状の贈呈について
- 議案第2号 顧問の委嘱について
- 議案第3号 第65回通常総会の招集について
- 議案第4号 令和3年度会計収入支出補正予算について
- 議案第5号 令和4年度事業計画について
- 議案第6号 令和4年度会計収支予算について
- 議案第7号 令和4年度賦課金徴収の方法及び時期について
- 議案第8号 金銭の預入先について
- 議案第9号 一時借入金の借入について
- 議案第10号 役員の報酬について
- 議案第11号 役員報酬額について
- 議案第12号 役員の選任について
- 議案第13号 決議(案)について



開会挨拶 榎本武利 会長



オンラインで瀧川技術調査官からの情報提供

## 令和4年度 本会の組織体制及び職員人事異動

### 1. 組織体制

令和4年度の本会の組織機構は、理事15人、監事3人の計18人の役員と、2部、農業土木技術サポートセンター、4課、3事務所、建築事務所となります。

### 2. 新たな事業等への取組

#### (1) 土地改良水利施設ストックマネジメント

農業用水利施設の長寿命化を目的として、日常監視記録を収集蓄積して、施設の分析、評価し、補修、補強、更新及び指導、啓発普及等を行うストックマネジメント体制の構築。

#### (2) 審査室の設置

知識経験の豊富な技術者を配置する審査室を設置し、成果品の品質向上と人材育成を図る。

## 職員人事異動表

### 【管理職の部】

令和4年4月1日発令

氏名	発令		旧		備考
	所属	職名	所属	職名	
山口 浩史	本部事務局	参事 (兼)事務局長	本部事務局	事務局長	昇任
宮本 英樹	〃	事業部長 (兼)農業土木技術 サポートセンター長 (兼)審査室長	〃	事業部長 (兼)農業土木技術 サポートセンター長 (兼)計画設計課長	
木村 満基	計画設計課	課長	技術管理課	課長補佐	昇任

### 【課長補佐の部】

氏名	発令		旧		備考
	所属	職名	所属	職名	
澤 麻衣子	農業土木技術 サポートセンター (兼)会員支援課 (兼)鳥取事務所	課長補佐	農業土木技術 サポートセンター (兼)会員支援課 (兼)鳥取事務所	係長	昇任
藤原 剛司	米子事務所	次長	米子事務所	〃	〃

### 【係長の部】

氏名	発令		旧		備考
	所属	職名	所属	職名	
山本 博己	農業土木技術 サポートセンター (兼)審査室	係長	農業土木技術 サポートセンター (兼)計画設計課	係長	

**【主任以下の部】**

氏名	発令		旧		備考
	所属	職名	所属	職名	
谷岡 和幸	農業土木技術サポートセンター (兼)審査室	主任	農業土木技術サポートセンター	主任	
渡邊 忠直	農業土木技術サポートセンター (兼)審査室	技術指導員	農業土木技術サポートセンター	〃	
山本 光洋	技術管理課	主任	技術管理課	技師	昇任
米村 佳祐	米子事務所	技師	技術管理課 地籍・換地測量室	〃	

**【新規採用の部】**

氏名	発令		備考
	所属	職名	
松ノ谷 昭	農業土木技術サポートセンター (兼)審査室 (兼)会員支援課	係長	新規採用
谷本 彩子	総務企画課	主事	〃
松村 晴香	会員支援課 (兼)鳥取事務所	〃	〃
高井 優	技術管理課 地籍・換地測量室	技師	〃
西川 佳希	計画設計課	〃	〃

**令和3年度 新たに資格を取得した者**

資格名	所属	氏名
RCCM(河川、砂防及び海岸・海洋)	事務局長	山口 浩史
RCCM( // )	農業土木技術サポートセンター	山本 博己
RCCM(土質及び基礎)	技術管理課	木村 満基
RCCM(下水道)	//	熊中 良行
RCCM( // )	農業土木技術サポートセンター	澤 麻衣子
補償業務管理士	倉吉事務所	藤原 和之
//	技術管理課 地籍・換地測量室	田 渕 智基
技術士補(農業)	計画設計課	池上 早紀
地質調査技士	農業土木技術サポートセンター	澤 麻衣子
測量士補	技術管理課	津中 孝
//	計画設計課	池上 早紀
会計指導員	技術管理課	津中 孝
//	倉吉事務所	富田 幸宗

## 令和4年度 新規採用職員の紹介

総務企画課 主事

たにもと あやこ  
谷本 彩子



令和4年度より、鳥取県土地改良事業団体連合会に採用となりました、谷本彩子と申します。

大好きな鳥取で、地域に密着したお仕事に携われること、魅力あるふるさとを未来に残すお手伝いができることを大変うれしく思っております。

至らないことも多々あるかと思いますが、1日も早く皆様のお役に立てるよう精一杯努力をして参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

会員支援課 主事

まつむら はるか  
松村 晴香



令和4年度より、鳥取県土地改良事業団体連合会に採用となりました、松村晴香と申します。

大学は、鳥取大学工学部科学バイオ系学科無機元素化学研究室に所属していました。これまで学んできたこととは違う環境ではありますが、一度見学をさせていただいた際に感じた雰囲気がとても印象に残り、私もその一員になりたいと思っていたのでこれからみなさんと共に働けることをとてもうれしく思っております。

初めてのことばかりで至らない点があるかもしれませんが、精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

技術管理課 地籍・換地測量室 技師

たかい ゆう  
高井 優



この度、鳥取県土地改良事業団体連合会に採用となりました、高井優と申します。

大学は、鳥取大学農学部で、灌漑や流域治水に関することを学んでいました。本会へのインターンシップを通して、近年の異常気象の被害状況を知りました。大学で学んだことを活かして少しでも力になりたいと考えています。

4月からは少しでも早く仕事を覚えられるように頑張りますので、至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

計画設計課 技師

にしかわ よしき  
西川 佳希



令和4年度より鳥取県土地改良事業団体連合会に採用となりました、西川佳希と申します。

大学は、鳥取大学農学部で作物管理学を専攻しており、主に稲や大豆の栽培管理に関することを学んでいました。農業実習を体験する中で、農地維持の問題に興味を持ちました。地元である鳥取の農業、農村整備に貢献していける人材となれるよう励んで参ります。至らない点も多くあるかと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

農業土木技術サポートセンター 係長

まつのだに あきら  
松ノ谷 昭



私は、主に農業土木技術サポートセンターの業務を担当することになりました松ノ谷です。鳥取県農林水産部を平成30年3月に定年退職しましてから4年間、八頭町役場に勤務し、町道と農業用水路の改良・修繕、農林の災害復旧工事等を担当しておりました。

これからは、今までの経験を活かし、懐かしい土地改良関係の皆様と共に、土地改良施設の維持管理等に取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願致します。



愛と絆のある農業・農村をめざして  
水と土を愛する  
なかまたちを順次ご紹介

日野町役場 産業振興課 土地改良事業担当 小谷 勉

### 「日野町における土地改良事業と私」

私は平成22年から現在に至るまで日野町の土地改良事業に携わり、12年目となりました。土地改良事業に関わって最初のころは、事業のこと、工事のこと、何も分からず、都度、都度、鳥取県土地改良事業団体連合会(以下土連さん)に指導して頂き、なんとか今までやってることが出来ました。

さて、日野町ですが、平地の少ない中山間地域でありまして、今まで大規模な県営ほ場整備は行っておらず、団体営で事業実施してきました。その頃(昭和50年代後半から平成初期)土地改良事業に携わった日野町職員も次々と定年退職を迎えてきております。



「無事、災害復旧を終えた頭首工を見て“にやける”私。」

私が担当するようになった近年では老朽化した農業用水路の改修、災害が起きた場合の復旧、防災整備が主な土地改良の仕事となりました。

中でも平成30年の豪雨災害は、ほ場や道水路の被災に加えて日野川水系の頭首工が5ヶ所被災し、地元調整・災害査定・補助率増高申請(コレが手間掛かる)・工事発注・現場管理に大変な思いをしました。

土連さんには無理を聞いて頂き、査定設計やその後の工事設計をお世話になりました。現在では無事復旧を終え、今後災害が発生しないよう願うばかりです。

水路施設やため池の防災・減災整備に取り組んでおります。

日野町では地形上、豪雨時に山からの水が農業用水路に流入する個所が多いことから、土砂流入や用水路のオーバーフローによる被害が出ております。

その防災・減災対策が今後の急務であると考えております。都度、都度、土連さんに相談しますので、米子事務所の皆さん、ご指導のほどよろしく申し上げます。



「防災・減災として山からの水と農業用水路を分離し、排水出来るようにしました。」



### 編集後記

春になりました！日差しがポカポカ暖くなり、桜がキレイに咲きましたね。皆さんお花見はされましたか？誌面最終ページのあつまれ、水と土のなかまたちが掲載、祝1年を迎えました！この誌面を飾りたい！という仲間からのお言葉を待っております。新しい職員も迎え、今年度こそ皆さまと気兼ねなく、集まる機会が増えますように！